

令和４年度 稲沢市地域自立支援協議会 第２回就労支援部会 議事要旨

[日 時] 令和４年７月１９日（火）午後２時～午後３時

[場 所] 稲沢市役所 東庁舎 １階 会議室 ７

[出席者] 就労支援部会委員 ７人、事務局 ３人

[欠席者] 就労支援部会委員 １人

あいさつ（部会長）

[議 事]

１ 報告事項

(１) 運営会議（７月７日）報告

・障害者雇用が進まない課題について、送り出す側の問題がないかという意見があったことについて、事務局から報告

部会長 障害者雇用が進まないことについて、どこに問題があるかということを検証する時期に来ているかと思う。企業側だけの働きかけではなく、いろいろな視点からの働きかけが必要ではないかと思う。皆さんから意見を聞きたい。

委員 A 特別支援学校の進路選択では、今２年生が、１０月の企業実習に向けてどの生徒がどの企業にいくかという調整を進めている。中には本人より、保護者の希望が強い場合がある。生徒の実態として、学校としては企業での就労が難しいのではと思っても「チャンスを与えない」と厳しいご意見もあって、なんとかして企業実習をチャレンジさせたいと思うが、難しい。一宮市や小牧市で、今まで実習させていただいているところでは、採用でなく体験ということで受け入れてくれる企業もあるので、通勤に無理がなければ、学校として一步足りない子でもチャレンジさせていただいている。過去には、希望する生徒全員、ということもしていたが、離職率がどうしても高くなるので、就職率、というより定着率を高くすることが大事だということで、学校として路線変更したところはある。学校として十分に一般企業で、できるだろうという子をお願いしているのが現状。

条件として１つは自力で通学している子。子どもたちに分かり易く言っているのは、あいさつとコミュニケーション能力。企業や業種によって誰とでもコミュニケーションが取れること、まずあいさつになる。そして報連相。分からない時すぐに質問できる、もう一つは素直な心、会社から示されたルールをしっかりと守る、中にはルールを変えて自分のやり方でやってしまう生徒がいる。それから元気な体、とにかく休まない。健常者に比べて１時間の作業の量が少ないかもしれないが、休まずにコツコツとすることで仕事を任せられるように、体調管理をしっかりとすること。これらの点から、学年職員を中心に推薦している。

委員 B 就労移行支援事業所としてアセスメントを実施している。大体３日間ほど体験していただく。正直なところ、就労継続支援 B 型に行くことが決まっていますそこに

いくためのアセスメントになっている。B型に行く前提のアセスメント。それでも一般企業で働けるのではないかという方も中にはいるので、事業所としては可能性のある方や希望される方があれば受け入れていきたいと思っている。

事務局 一般企業に行けるという方もいるのか。

委員 B いる。ただ、それこそご家族の意向もある。

部会長 研修会について意見があったが、具体的にどうするか。

事務局 現時点で内容が全く未定だが、相談支援事業所と学校との連携や、本人の意思を尊重するという考え方にしろうかと思う。地域アドバイザーからは協力すると言われている。部会としてどう進めるかは、関係機関からご意見をいただければと思う。

部会長 研修会は、部会だけでなく全体でとらえてもいいかなと思う。

2 協議事項

(1) 企業のための見学会等について

部会長 企業のための見学会について、前回の部会で、1日だけだとその時に都合が悪いと参加できないという意見があり開放期間設けることにした。池戸さん、高瀬さん、うちの会社の3社の見学会でどうかと思った。こういう形で進めて良いか。

委員 C 良い。

部会長 ただ、どこかには部会の皆さんに出ていただきたい。分担表みたいなものつくってどこかには顔を出していただきたいと思うよろしくお願いします。
タイムスケジュールとして8月にチラシ作成をし、商工会議所から意見があったSDGsをからめてチラシに盛り込んでいきたい。

事務局 案を提示する。ベースは今までのチラシをもとに、日程等を変えた。活動案では、ステップ別に開催するという意見があった。見学会をしている中で、企業に来ていただく内容になっている。10月、2月というのは仮の記載なので、調整をかけたと思う。スケジュールは案になる。

部会長 説明会をステップ別に設定することにした。他にご意見があれば。

事務局 補足として、チラシに、各特別日程に裏面とあるが、今日は裏面をつけていない。裏面は申込書として作成していく。

部会長 チラシは会議所の会報に同封してもらい、愛知県のサポートデスクに情報提供していく。広報にも載せるか。

事務局 例年載せている。10月に載せるには8月に校正になる。

部会長 次に、障害者の雇用状況についてどのように把握するか。

事務局 ハローワークさんが把握されていると思うので、いつの時点かで、教えて頂きたい。

部会長 数字が分かれば教えてほしい。雇用促進キャンペーンでアンケートをするか。

事務局 雇用キャンペーンでは雇用のことについて直接意見交換をされると思うので、部会で教えていただけると良い。アンケートについては、企業向けのアンケートをと

いう意見もあったが、一斉にたくさんアンケート取るのも効果があるのかという意見が出ていた。今までの見学会に参加された企業に対してその後のことを聞いてみることはしても良いかなと思う。たとえば昨年度オンライン学習会参加企業に対して採用に繋がったかどうか、理由について聞けたらいいかなと思い案を作成した。

委員 D たくさん質問しても回答が大変なので、主要な質問としてはこれで問題ない。

部会長 不特定多数に出すアンケートではないので必ず回答するという事を書いてもらうと良い。時期はいつにするか。

事務局 まだ考えていない。今日は内容を考えさせていただければと思う。方向性として今まで参加企業でよいということなら、進めたい。商工会議所が欠席なので意見を聞いて進めたい。今年度、部会として実施できればいいと考えている。

部会長 当事者向けとしては、令和6年度から11年度までの福祉計画の作成を兼ねたアンケートを市が実施する。

事務局 先の部会以降、皆さんにいろいろ意見をいただいた。アンケートに盛り込んで参考にしていく。当事者1,500人と、手帳等がない方1,500人の合計3,000人をお願いする。雇用についてもきいていく。部会で報告したいと思う。

部会長 福祉事業所で働く障害者の現状は連絡会で確認していくことでよいか。

事務局 連絡会は定期的開催していて就労支援の状況も情報交換している。6月開催の連絡会で産学連携について意見交換した。大学の一つとは、以前からコロナの前に大学祭に声をかけていただき、マルシェに参加させていただいていた。できるなら参加したいと希望があった。お互いに意見交換をしても良いという意見があった。大学の中にある地域連携センターと繋がることで、工賃向上のための話ができるのではという意見が出た。大学関係者等とも相談をしていきたい。

委員 C せっくなので進むと良い。マルシェに参加するにとどまらず、さをり織りのデザインを一緒に考えて文化祭などに合わせて作品作りをするとか、パンとかクッキーとか学生とコラボ作品を一緒に作るみたいなことができると思う。そうすることで、文化祭だけでなく学生が買いに来てくれることになる。次につながる連携をテーマにして取り組まれてもいいと思う。

部会長 部会からの意見を連絡会に伝えて進めてほしい。福祉まつりについて、障害者雇用で働いているかたの仕事の紹介などができると良いという意見があり福祉まつりへの出店を予定する。一般の方が知らないことが多いので福祉まつりで紹介できればいい。10月22日に開催予定。うちの会社の仕事は持ち出して組み立てることができるので持ち込んで紹介したい。見て知ってもらいたい。皆さん見学ということで参加してほしい。福祉まつりはどれくらいの団体が参加するか。

事務局 今調整中でわからないが、例年、沢山の団体が出展する。数十か所が参加する。今年にはコロナ対策で間隔をあけて設置すると聞いているが、屋外や勤労福祉会館も

使うので沢山の団体が参加できると思う。

部会長 いつも賑わっている。自立支援協議会の就労支援部会ではこういうことをしているということを紹介したいと思う。これとは別に、商工会議所が 50 周年で稲沢駅前のエントリオでマルシェをする。社協も参加する。うちの会社も出店する。時間があればお越しいただきたい。働いている様子を皆さんに知ってほしい。

部会長 企業のための見学会の準備について次回は 9 月 27 日だが間に合うか。

事務局 ご協力いただける会社の調整ができれば、次回の部会で確定した内容を説明することで出来るのではないかと思います。事業の周知までの部分は調整次第。

部会長 プログラムと日程調整について事務局にお願いしたいと思う。池戸さんとうちと高瀬さんは日程について都合を出してもらえればと思う。次回は 9 月 27 日とする。

事務局 今都合の悪い時期が分かれば教えてほしい。前回の部会で間隔をあけてやった方がという意見が出ていたので、時期を少し開けて実施できればと思っている。

部会長 雇用促進月間については 9 月の 1 か月間か。実際に回る日はいつか。

委員 E 今のところ 9 月 21 日で調整をしている。

事務局 雇用促進月間として 9 月にその他の啓発はあるか。

委員 E その他は特にない。

部会長 どこに行くかは決まっているか。

委員 E まだ決まっていない。8 月中には決まる。次の部会で結果を報告したい。

事務局 見学会の周知ができるといいという話があるので何社か教えてほしい。

委員 E 未達企業を 5 か所まわる。毎年違う企業を回る。

部会長 雇用につながったか。

委員 E 障害者雇用って何ということから、どこが支援機関という情報もないのでハローワークが同行するので繋いでいき 1, 2 社は雇用につながる。ただそこからの定着が難しいことはよく聞く。

部会長 先ほどのアンケートをキャンペーンで回ったところにするのは難しいか。

委員 E 商工観光課として行っていない。

事務局 キャンペーンは聞き取りをする感じか、お願いをする感じか。

委員 E お願いして意見交換をするかたち。9 人くらいで行くので数的圧力はあるかもしれない。市長の言葉ということでメッセージを読む。

3 その他

事務局 就労支援機関マップについて、以前から一宮市と合同で作成してきたが、福祉事業所の数が増え、2 市の情報を同じ紙面に載せることが難しくなり、一宮市の部会から、合同で作成することはできないと連絡が来た。

委員 C 昨年更新してからもどんどん新しい企業ができて情報が古くなっている。一宮市

の部会では毎年更新することで決めたが、一宮市単独で更新することになった。今までは地図に **QR** コードがあり 1 事業所毎のガイド（事業所情報）を照らし合わせてリンクしていたが、ガイドは作らず、**WAM NET** があるのでそれを活用していく。市のサイトにのっていたものも、消していく。一宮市だけでマップは更新していく。

部会長 稲沢市はどうか。

事務局 協議会で「福祉サービスあるか」とを作成している。市内の全事業所を載せている。各事業所の特徴を掲載しているので、発行している地域生活支援部会に同意を得て、それを活用していくことにしたい。